

男女共同参画に関する市民意識調査  
報 告 書

平成 24 年 1 月  
さいたま市



# \* 目 次 \*

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
3 調査内容.....	1
4 回収結果.....	1
5 調査結果の見方.....	2
6 他調査との比較について.....	2
<b>第2章 調査結果の概要</b> .....	3
1 回答者の属性.....	3
2 調査結果の傾向.....	7
<b>第3章 調査結果</b> .....	19
Ⅰ 男女平等に関する意識について.....	19
問1 「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担意識.....	19
問2 各分野における男女の地位の平等感.....	23
問3 男女共同参画に関する言葉の認知度.....	35
問4 メディアにおける性・暴力表現についての考え方.....	47
問5 女性の生涯を通じた健康を考える上で重要なこと.....	50
Ⅱ 家庭生活について.....	52
問6 結婚、離婚等についての考え方.....	52
問7 配偶者に期待すること.....	58
問8 家庭生活における役割分担.....	64
問9 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために重要なこと.....	76
問10 地域活動の参加経験と今後の参加意向.....	79
問11 ワーク・ライフ・バランスの希望と現実.....	83
Ⅲ 就業について.....	87
問12 女性が職業をもつことについての考え.....	87
問13 女性が結婚・出産後も働き続けるために必要なこと.....	90
問14 女性が再就職をするために必要なこと.....	93
問15 職場における男女の地位の平等感.....	96
問16 男性が育児・介護休業等を取得することについての考え方.....	105
問16-1 男性が育児・介護休業等を取得しづらい理由.....	107
問17 育児休業、介護休業等の取得の有無.....	110

問 18	仕事と家庭の両立のために必要なこと	120
<b>IV</b>	<b>社会参画について</b>	<b>122</b>
問 19	女性が政策・方針決定の場に進出することについての考え	122
問 20	女性が政策・方針決定の場に進出するために必要なこと	125
問 21	ポジティブ・アクションについての考え方	127
<b>V</b>	<b>学校教育について</b>	<b>129</b>
問 22	学校教育の分野で力を入れるべきこと	129
<b>VI</b>	<b>配偶者などからの暴力について</b>	<b>131</b>
問 23	暴力として認識される行為	131
問 24	配偶者などへの加害行為	144
問 25	配偶者などからの被害経験	147
問 25-1	配偶者などからの被害経験の時期	149
問 25-2	命の危険を感じたこと	151
問 25-3	暴力行為について、子どもの目撃の有無	153
問 25-4	子どもへの暴力行為の有無	154
問 25-5	暴力についての相談経験	155
問 25-6	相談した相手（場所）	156
問 25-7	相談できなかった理由	158
問 26	配偶者などの間における暴力を防止するために必要なこと	159
<b>VII</b>	<b>市の男女共同参画の推進に関する施策について</b>	<b>162</b>
問 27	市の施策や制度の認知度	162
問 28	男女共同参画社会情報誌を読んだ経験	165
問 28-1	男女共同参画社会情報誌を読んだ感想	166
問 28-2	男女共同参画社会情報誌を読んだことがない理由	166
問 29	男女共同参画推進センターの利用経験	167
問 30	男女共同参画推進センターに期待すること	169
問 31	男女共同参画社会実現のために重要なこと	172
問 32	男女共同参画社会実現のために市が力を入れていくべきこと	174
<b>VIII</b>	<b>自由意見</b>	<b>176</b>
<b>第4章</b>	<b>今後の課題</b>	<b>181</b>
<b>資料編</b>		<b>185</b>